



おぐろ

2015
12
NO. 734



～ふうわり風船～

11月7日に中心商店街で再エネ☆フェス！（小国エネルギーの地産地消を考える会主催）が開催され、様々な種類のペレットストーブの展示やイベントなどが行われました。会場の中では黄色い風船が大きなかごに結ばれており、子どもたちがそこに入って、まるで気球に乗っているかのように遊んでいました。日が短く肌寒い日。でも、太陽のように明るい子どもたちの声が響いていました。



白い森の国“おぐに” 幸せづくりプラン

～小国町地域創生総合戦略を策定しました～

国では、急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが喫緊の課題ととらえています。そのため国は、昨年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、国と地方が一体となってこうした課題に対応し、地方創生を推進していくこととしています。そのため、地方においても地方版総合戦略の策定が求められており、町でも10月29日に「小国町人口ビジョン」及び「小国町地域創生総合戦略」を策定しました。今月は、「小国町人口ビジョン」の概略と、策定にあたって実施した住民意識調査や懇話会の概論についてお知らせします。

町では、「人と自然が織りなす やさしい暮らしがあるまち 白い森の国“おぐに”」を将来像とする第4次小国町総合計画基本構想（平成21年度～平成30年度）及び後期基本計画（平成26年度～平成30年度）に基づいて、総合的、計画的にまちづくりを進めています。この基本構想及び基本計画で掲げたまちづくりの基本目標や施策展開の方向は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と重なることから、「小国町地域創生総合戦略」（以下「総合戦略」）においても、これを基本とし、人口減少の抑制とあわせ、将来像や基本目標の実現を目指しています。

総合戦略の策定にあたっては、これまでの人口動態の分析を行うとともにまちづくりにつながる幅広い意見を集約するため、住民意識調査（アンケート調査）や、各分野の住民の議論の場として策定懇話会を開催し進めてきました。計画期間は平成27年度から平成31年度までの5年間とし

図1 総合戦略の基本方針

小国町地域創生総合戦略 <基本方針>

山の暮らし伝承創造機構による取り組みを通じ、地域の「誇り」と「魅力」を再興し、協働、交流、連携に基づく地域づくりを推進する ～知恵と技の伝承による新しい地域創生プラットフォームの構築～

小国町第4次小国町総合計画 <4つの基本目標>

- ①地域を支える「人」の減少と少子高齢化の進行への対応
- ②地域産業の活力向上への取り組みと時期を捉えた戦略的な産業おこし
- ③あらゆる世代にとっての「住みよさ」の徹底的な追求
- ④都市部の利便性とは異なる「豊かな暮らし」の提案と発信

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略

<政策5原則>

自律性・将来性・地域性・直接性・結果重視

<4つの基本目標>

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方への新しい人の流れを創る
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ④時代にあった地域を創り、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

町では、この長期ビジョンを勘案しつつ、本町における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示した「小国町人口ビジョン」を、総合戦略と併せて策定しました。なお、策定にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)の推計方法を基本とし、今後実施する「まち・ひと・

の方向であるとした上で、そのためには人口減少に歯止めをかけることが必要であり、様々な分野にわたる総合的な取組を長期的・継続的に実施することによって合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に産む子供の人数)の向上を図り、2040年(平成52年)までに、合計特殊出生率を将来の人口が維持できるとされる2・07まで回復することで総人口1億人程度を確保する、という将来推計を示しています。

人口ビジョン 人口の将来展望

人口ビジョンとは

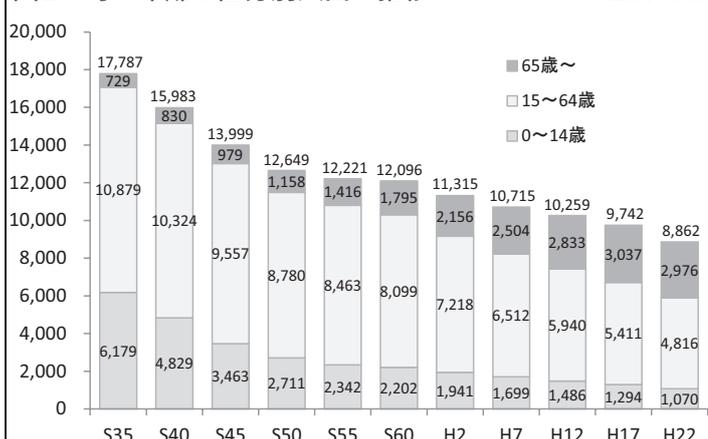
国では、人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する国民の認識を共有するため、長期ビジョンを策定しました。将来にわたって「活力ある日本社会」を維持することこそが、我が国が目指すべき将来

であり、その間、町は町民各界、各層代表や外部有識者とともに、随時その検証と見直しを図ります。そのため、5年後の政策目標を設定し、その実現に向けて施策ごとの客観的な重要業績評価指数を定めることで、実施する施策・事業の効果が明確な数値として表されます。

町の人口動向分析

町の人口は、昭和30年に1万8366人まで増加しましたが、その後は減少に転じ、平成17年には9742人と1万人を割り込みました。昭和50年頃からは一貫して100人前後が減少しています。

図2 町の年齢3区分別人口の推移 資料：国勢調査



特集 白い森の国“おぐに”幸せづくりプラン～小国町地域創生総合戦略を策定しました～

昭和40年までは1万人を超えていましたが、平成22年には4816人と半数を下回っています。一方、老年人口（65歳以上）は年々増加しており、平成2年には年少人口（0～14歳）と逆転し、平成17年には3000人を超えています。

自然動態（出生数）については、記録のある昭和60年以降、合計特殊出生率が山形県及び全国の数値より高く、出生率（人口1000人あたりの出生数）が低い状況にあります。合計特殊出生率が高いにも関わらず出生率が低いことから、合計特殊出生率を算出する際の母数となる15～49歳女性人口の減少が大きいことが示唆されます。

社会動態（転入・転出）は県内への異動が最も多く、次いで隣接する新潟県との間の異動が多くなっています。昭和60年から平成22年までの国勢調査データによると、10～24歳の転出と25～29歳の転入が顕著であり、これは進学や就職による転出と大学等の卒業者が帰郷したことによるも

のです。Uターン者の割合は年々低くなってきています。

雇用状況では、第1次から第3次までの各産業とも就業者数が減少するなかで、産業別構成比をみると昭和55年に25.5%を占めていた第1次産業が平成22年には7%にまで減少しており、就業構造が大きく変化していることがわかります。また、就業者の年齢構成をみると、農業・林業は5割以上を60歳以上が占め、製造業や医療・福祉では40代までの比較的若い世代が5割以上を占めています。

〈人口の将来展望〉

全国調査によれば、東京在住者の40%が「地方への移住を検討している」または「今後検討したい」と考えていると報告されています。これらで本町が進めてきた、自然の恵みと人の和にあふれた「豊かな暮らし」を積極的に発信し、都市部の人々の移住の受け皿となることで、人口流入を促進する必要があります。

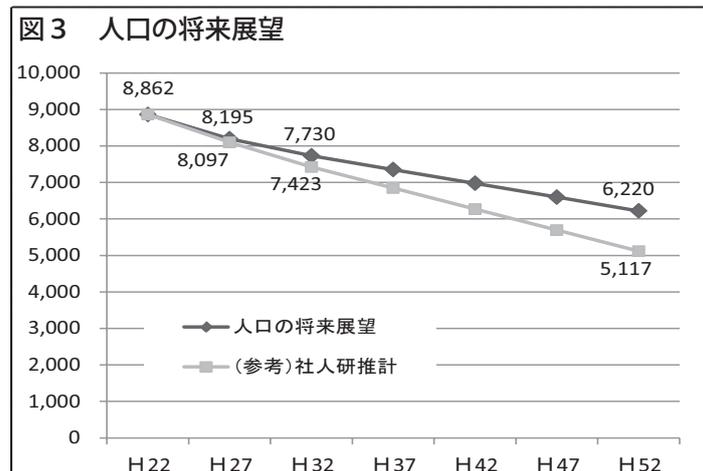
このほか、出産・子育て環境のさらなる向上、雇用の場

を創出することによる人口流出の抑制、集落同士の協働や外部人材との交流など連携によつて支えあうしくみの構築などを行っていく必要があります。

社人研が推計した将来人口は、平成52年には5117人になると予想されていますが、町が、地方創生の取り組みを着実に実行していくことによる推計では6220人と見込んでいます。今後の人口減少はとめられませんが、これらの取り組みを進めることで人口減少をできるだけ鈍化させ、若い人たちの割合を増やすことが重要です。

また、小国町に住所をおく人ばかりでなく、町外からの通勤者や通学者、本町をフィールドとして活動する大学生、あるいはふるさと納税で支援

してくださるかたなど、多くの方々が本町に来訪、交流しています。こうした協働人口を増やすことで定住人口の減少による影響を補い、活気と魅力があふれる持続可能なまちづくりを目指していきます。



住民意識調査 アンケート

住民意識調査では、将来の地域づくりに向けて幅広い世代の意見を把握し、総合戦略

の策定に反映するため、中学生以上の全町民を対象とした意識調査を6月に実施しまし

特集 白い森の国“おぐに”幸せづくりプラン～小国町地域創生総合戦略を策定しました～

た。また、人口減少・高齢化が進む中で地域の活力を取り戻すためには、町外から見た町の姿を把握し、対策を講じる必要があることから、小国町出身者の一部のかたにもアンケート調査を実施しました。

町在住の一般町民（18歳以上）の対象者6907人のうち回収票数5377票（77.9%）、中学生・高校生については対象者472人のうち回収票数316票（69.9%）でした。町出身者は対象者349人のうち回収票数208票（60.0%）でした。町のイメージ調査では、豊かな森林や水資源とそれらが創りだす四季折々の美しい景観は、すべての世代から町の魅力として高く評価されており、特に町出身者の評価が高くなっています。一方、冬季の積雪の多さに対しては町のマイナス要素と評価する人が多く、冬季の雪下ろしや雪かきが大変、という声が6割に上っています。

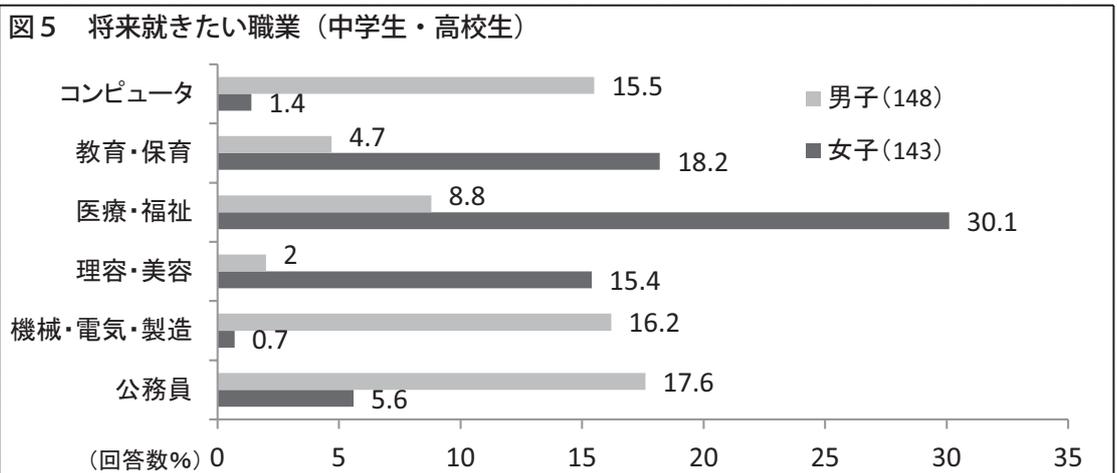
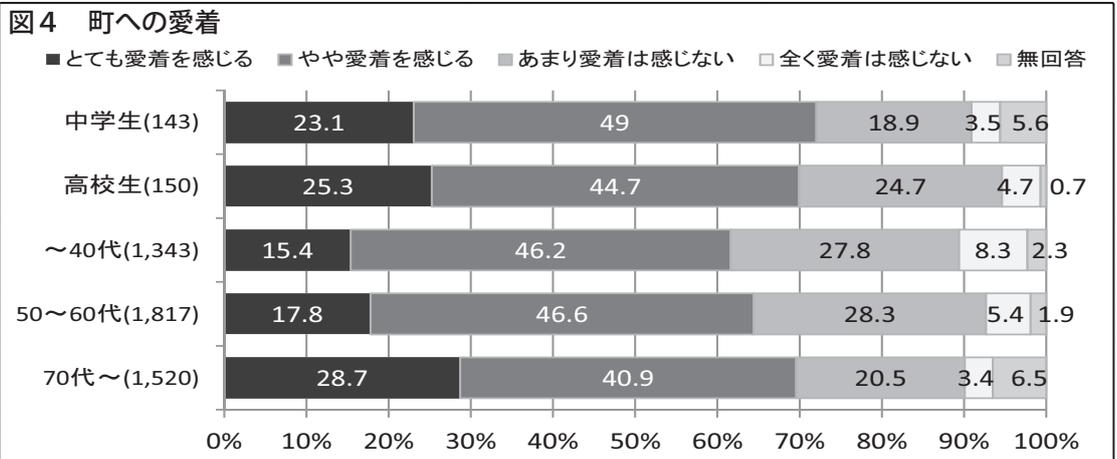
また、ふだんの生活で困っている問題として、雪かきの

大変さと買い物物の不便さ、若者のUターンが進まないことが挙げられ、特に50代以上では、高齢化により集落活動や共同作業が困難、との声が多くなっています。

暮らしやすくしていくために力をいれるべきこととしては、「地域産業の振興と雇用の場の創出」と「私道の除雪や屋根の雪下ろし等への支援の充実」、「子育て支援」、「都市部の若者やリタイア世代の移住促進」との回答が全体に多く、総合戦略の柱となる基本の政策と同様の認識を住民が持っていることが分かります。

中学生・高校生へのアンケートでは、町への愛着度については、「とても愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせると7割を超えており、18歳以上の町民より割合が高くなっていますが、将来の居住場所は7割が町外を希望しています。この背景として、「小国町では働くところが少ないから」や、「遊ぶところが少ないから」、「町には

ない企業への就職や仕事に就きたいから」が理由に挙げられています。ただし、「小国は暮らしやすいから」という理由を挙げた割合は1割



強とあまり多くないことから、生活環境への不満というよりは、働く場がないことの方が定住を考える際の問題点であるといえます。

特集 白い森の国“おぐに”幸せづくりプラン～小国町地域創生総合戦略を策定しました～

総合戦略策定懇話会

町民からの幅広い意見を集約して総合戦略に反映させるため、町内の農業や商工業さらには小国高校生、福祉施設、地域振興協議会など、各分野と各世代の20人の町民からなる「総合戦略策定懇話会」を設置し、延べ13回に渡り意見を交換しました。懇話会の

構成は国の総合戦略の基本目標に沿って4つの部会に分け、各部会、座長1人と町民5人に参加していただきました。
①雇用創出部会
 どのようなことで雇用を創出できるか具体的に整理し、そのうち実現可能性が高いと考えられる、既存産業の継続

的な発展支援、森林資源のさらなる活用と第一次産業の高度化、各分野の連携による山菜の販売ルートの開拓などについて議論が交わされました。働きたいが希望職種が無く町を出ていく人が多いなか、「この町に住みたいから仕事を創る」という発想が必要ではな

委員として参加した小国高校2年生のみなさん



結婚・出産・子育て部会委員
金 歩夢くん (新屋敷)

これまで大人のかたと話をする機会がなく、初めは自分の意見を否定されるかもしれないと思っていましたが、他の参加者のかたが自分の意見に共感して取り入れてくれたことで緊張感がほぐれ、自信にもなり、楽しく参加することができました。

自分とは違う多くの人の意見を聞くことができ、大変勉強になりました。今回話し合ったことをどうやって生かしていったら良いかを考え、自分も小国町のために役立っていきたいです。



結婚・出産・子育て部会委員
舟山 咲さん (若山)

中学校の頃、小国町に貢献するにはどうしたら良いかという学習の中で「小国に住み続けますか」という質問をされ、大半の人が「住み続けない」と答えていました。このときにみんなから出た意見や自分の想いを、今回の懇話会で伝えることができ良かったです。

この町の良さは人との繋がりの深さだと思っていて、それが嫌だと感じる場所でもありますし、刺激にもなっていると思っています。

今後は県外の大学で学び、仕事に就くとき、また小国に戻って来たいです。



人の流れ創造部会委員
佐藤 大雅くん (岩井沢)

他の参加者の話から、自分が知らない小国の魅力を知ることができました。

懇話会の中でレポートの発表をしたのですが、自分と違う意見を聞いたり、それぞれの流れの作り方があって、とても勉強になりました。自分の未熟さを感じるとともに、もっと成長しなければならないと思いました。

これまで学校で町のことを話す機会がなかったのですが、今回、町のことを考えるきっかけになりましたし、進路の方向性を考えることにもつながりました。



人の流れ創造部会委員
舟山 玲奈さん (小玉川)

高校1年生で参加した「聞き書き甲子園」で、伝統の継承や過疎地域の問題を学びました。このとき考えたことを今回の会議で発言できて良かったです。

これまでに学校でも地域のことを学んできましたが、実際は若い人にとっては、この町は家があるというだけの場所であって、地域の良さや地域が抱える問題を本当に感じ取れている人は少ないと思います。私は、この懇話会を通じて自分の意識が変わりました。同じように、私たちと同じ世代の人の意識がもっと変わって、皆で考えるようになったら、この町はもっと良くなると思います。

4つの部会と座長

①雇用創出部会

座長：山形銀行(株)小国支店長
布施和宏氏

②人の流れ創造部会

座長：新潟県立大学国際地域学部教授
山中知彦氏

③結婚・出産・子育て部会

座長：(有)地域環境デザイン研究所所長
宮原博通氏

④地域創造・暮らし安心部会

座長：法政大学現代福祉学部教授
関司直也氏

特集 白い森の国“おぐに”幸せづくりプラン～小国町地域創生総合戦略を策定しました～



人の流れ創造部会座長
山中 知彦 氏

(新潟県立大学国際地域学部教授)

町のかたが、私の予想以上に深く考えてくれました。それぞれ自分たちの経験が生かされる参加の仕方だったのではないかと思います。そういう町民のかたが、今回の懇話会だけでなく、これからも意見を言えるように、町として受け入れ体制を作っていた

だきたいです。

また、参加してくれた高校生については、どこにでもいるような優等生ではなく、それぞれ個性を持っていて、様々なアイデアを出してくれました。言われたから参加するというより、他の委員の話が面白くて参加していたのではないかと思います。

最終的には町民のかたが結論を出してくれましたが、町内で活動している団体をつないで、サポートするしくみを町で作ってほしいと考えています。



雇用創出部会委員

齋藤 美穂さん (石滝)
(クアーズテック(株)小国事業所)

私はこの町が好きです。家族がいることはもちろん、小国の人と人の近さが安心できますし、小さい頃から自然の中で遊ぶことが大好きだったので、町を離れたくありません。アンケート結果で、自分が想像していたよりも多くの若い

かたが小国を好きでいてくれて、でも働く場がなく出て行かざるをえないことが分かりました。その方々の要望に応えられる町ではないことが残念に思いました。

普段会うことのない他の職業のかたと触れ合い、それぞれの目線での話が聞けたことがとても新鮮でした。それぞれが思っていることがあっても、それを話す機会がありませんでした。今回私たちが出した案を、これからのまちづくりに役立ててほしいです。

いかという意見が出ました。

②人の流れ創造部会

委員の小国に対する想いやアンケート結果などについて話し合った後、各委員から、天然かき氷、町営バスの待ち時間を利用した交流、イベント団体の架け橋になる団体の設立などの提案を持ち寄り、実現可能性について検討しました。今住んでいる住民が、Uターン希望者や小国のファンなどの人の流れを作るコアになる仕組みをつくるのが重要であるとし、「住んでいる人が活

動していない町に魅力はない」などの意見が出ました。

③結婚・出産・子育て部会

人口減少や県の動向などの現状から委員の思いと具体案を書き出しました。この町で結婚・出産・子育てをするには、住んでみたい、訪ねてみたい町になる必要があり、「小国に暮らす人が心身ともに元気で笑い声が聞こえる町」にすることが最も説得力を持つとしたうえで、4つの部会の内容がバランスよく重なり合い実践されることが重要であると

の意見が出ました。

④地域創造・暮らし安心部会

10年後の自分の暮らしを想像し、アンケート結果をふまえて討議を重ねる中で、医療・出産・防災など町だけでは解決できない課題の広域連携や、若者のコミュニケーションの場の確保などの課題を抽出しました。「町を形成していく若者が未来を見ることができるよう展開こそが、本当の意味での地域と暮らしを作り上げていくフアクターである」とまとめました。

明るい未来のために

住民意識調査や懇話会で浮かび上がった課題や意見を取り入れながら、小国創生の方向や取り組むべき施策を整理し、小国町地域創生総合戦略を策定しました。平成31年までの間、総合戦略に基づいた事業を着実に実施していくことが重要となります。

総合戦略の具体的な内容は、広報おぐに1月号から、シリーズで紹介していきます。

平成27年度 文化の日表彰式

小国町文化の日表彰式を11月3日、おぐに開発総合センターで開催し、本町の振興発展に貢献された6人、1団体を表彰しました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

功績章表彰

小池 克敏 氏（白子沢）

平成15年以来3期11年7カ月の永きにわたり山形県議会議員として地方自治の確立に尽力され、町行政の発展に寄与されました。



文化の日表彰

■功労表彰

井上 邦彦 氏（北）

昭和50年に飯豊朝日山岳遭難救助隊に入隊後、平成18年からは遭難救助隊長に就任し、卓越した知見と豊富な経験をもって登山者の人命救助に尽力されると共に、遭難防止活動を推進し、安全登山の普及啓発に貢献されました。

小国町商工会女性部（小国町）

昭和61年の設立以来、30年間の永きにわたり町内美化活動を積極的に展開され、都市公園などの花壇の植栽、プラントーやフラワースタンドの



設置など、中心市街地の安らぎのある景観づくりに尽力されました。

■永年勤続表彰

駐在員（10年以上）

伊藤 義則 氏（河原角）

嶋貫 三代男 氏（市野沢）

川村 吉弥 氏（白子沢）

民生委員・児童委員（12年以上）

後藤 美代子 氏（松岡）

税に関する表彰式

長井税務署（齋藤正昭署長）の税に関する表彰式が、11月12日に小国中学校で行われました。

中学生の税についての表彰で、小国中学校2年の大澤眞子さん（小国町）が山形県納税推進協議会長賞、同1年の高橋平太くん（東原）が小国町長賞を受賞し、表彰状と記念品が贈られました。



平成27年 秋の叙勲

小野 精一さん
旭日双光章を受賞



前町長の小野精一さん(新股)が、旭日双光章を受章されました。小野さんは、昭和36年に町に奉職され、小国町助役を経て、平成12年から3期12年にわたり小国町長として本町の振興発展に尽力されました。この間、平成12年に「癒しの園」が竣工し、医療、保健、福祉の園が包括的に展開されることとなったほか、羽越水害の教訓から推進してきた国直轄横川ダムが平成20年に竣工、平成23年には小中高一貫教育の環境整備を図るための新小国小学校の構想をまとめるなど、多大な功績を残されました。

山口 英彦さん
旭日単光章を受賞



元小国町森林組合代表理事組合長の山口英彦さん(荒沢)が、旭日単光章を受章されました。山口さんは昭和47年に小国町北部森林組合(同年小国町森林組合に合併)の職員となつてから平成27年まで、42年にわたり林業振興に尽力されました。平成18年から9年間は、代表理事組合長として、木質チップ製造施設を建設し、冬期間の雇用の創出を可能としたほか、組合の経営基盤の強化、間伐材などの木材利用の促進を図り、時代を見据えた事業展開を進められました。

～町長室便り～
雨二モマケズ³⁶

まつり

盛田 信明

本町の秋は、飯豊、朝日の連山の錦織なす紅葉が鮮やかで、自然が輝く最も美しい季節であります。また、秋は、スポーツの秋、芸術の秋、そして実りの秋でもあります。例年この時期には文化祭を開催していましたが、今年からは、内容を充実し、「みんなで染める、秋の小国 白い森芸術祭」として、10月17日から11月23日まで開催しました。芸術文化活動をしている個人や団体の皆さんの発表、展示など、歌あり踊りあり演奏ありの多彩な内容で、11月23日には、フィナーレを飾るオーナーシエフ奥田政行氏の文化講演会で締めくくりました。

特に、江戸末期から伝わる古田歌舞伎は、花道を備えた新小国小学校体育館の特設舞台で感動的な素晴らしい演技で観衆を魅了しました。

またこの間、紅葉ジョギング大会、黒沢峠コネクト音楽祭、黒沢峠まつり、自然の恵み大感謝祭、鍋まつりなど多彩なイベントが開催され、町内外から多くの方々に来町いただきました。本町には、素晴らしい自然や食、伝統文化などの地域資源があり

ます。今後は、春の石楠花まつり、熊まつり、夏まつりと共に、四季折々のまつりを本町のイベントとして定着させ、交流人口の拡大につなげてまいります。町民のみなさんと一体となつて、小国の宝を活かした地域づくりを進めてまいりますので、一層のお力添えをお願い申し上げます。



200人が参加したジョギング大会
町内外から200人以上のジョギング愛好者が参加した大会



小国小学校特設舞台で古田歌舞伎の公演



第13回おぐに鍋まつりにて、ふるさと大使山遊亭金太郎師匠と





マイナンバー通知カードが届いたら、どうしたらいいの？

平成28年1月から、社会保障・税・災害対策における各種手続において、本人確認とともに、個人番号（マイナンバー）の記載・確認を求められることとなります。また、個人番号カードの交付を受ける際には通知カードの返却が必要となりますので、受け取られた通知カードは大切に保管して下さい。

通知カードは紙のカードで、個人番号の他、住所、氏名、生年月日、性別等が記載されており、透かし等の偽造防止技術も施されています。ただし、顔写真は記載されておらず、一般的な本人確認の手続きにおいて用いることはできません。番号確認にのみ使えるカードですので、本人確認を同時に行うためには、別に運転免許証や旅券等の本人確認書類が必要となります。

番号確認と本人確認を1枚で行いたい方は、個人番号カードが便利です。

個人番号カードには、個人番号、住所、氏名、生年月日、性別の他、顔写真が記載されることとなり、番号確認と本人確認が1枚で行えます。

個人番号カード申請をお手伝いします！

通知カードと一緒に郵送された交付申請書と送付用封筒をご利用いただき、郵送で申請することもできますが、説明を受けながら役場で申請することもでき、顔写真の撮影も代行いたします。その際は以下の書類も一緒にご持参ください。

役場で申請する場合に持参する書類

- ①個人番号カード交付申請書
- ②通知カード
- ③住民基本台帳カード（お持ちのかたのみ）
- ④本人確認書類（Aのうち1点、またはBのうち2点必要です）
 - A：運転免許証、運転経歴証明書（H24.4.1以降交付のもの）、旅券、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、在留カード、特別永住者証明書など
 - B：生活保護受給者証、健康保険の被保険者証、介護保険の被保険者証、医療受給者証、各種年金証書、児童扶養手当証書など
- ⑤印鑑



※個人番号カードの交付は平成28年1月からです。
 ※詳しい申請方法は、広報おぐに10月号をご覧ください。

■問合先 総務企画課行政管理室（☎62-2112）へ

平成27年度採用 町立病院職員を募集

～募集人員を満すまで募集を継続します～

■職種と人員

診療情報管理士1人

■受験資格

昭和50年4月2日以降に生まれたかた
 で診療情報管理士の資格を有するかた

■試験内容

書類審査、作文試験、面接試験

■試験および採用日程

＝12月中申込みの場合＝

申込締切 12月28日(月)

試験日 1月12日(火) 頃

採用日 3月1日(火) 頃

■その他

詳しくは町または町立病院のホームページをご覧ください。

■問合先 町立病院（☎61-1111）へ

保育児童・小学生をお持ちの保護者の皆さんへ

平成28年4月からの保育所・中央児童室の利用申し込みのお知らせ

保育所

平成27年4月から「子ども・子育て支援制度」が始まり、新たに保育所を利用するためには保育を必要とする事由に該当し、支給認定を受ける必要があります。

※保育を必要とする事由

〔就労（フルタイム、パートタイム）、妊娠・出産、保護者の疾病・障がい、同居又は長期入院している親族の介護・看護、求職活動、就学等〕

支給認定の手続き

- 対象 平成28年4月から新たに保育所の利用を希望するかた
- 申請書 12月1日(火)から健康福祉課、各保育園にて配布します。
- 申込期間 **平成27年12月7日(月)～14日(月)**
平日18:30まで受付（土日祝日は休み）
- 申込場所 健康福祉課
受付時にその場で保護者のかたと面談し、保育を必要とする状況等について確認させていただきます。
- 提出書類 「支給認定申請兼利用申込書」及び必要書類
※詳細は配布時に説明します。
- その他 健康福祉課に「保育所一覧」を備えていますので、施設希望の参考にしてください。



★現在入所しているお子さんについて

平成28年1月に「現況届」の提出について別途お知らせします。

中央児童室

中央児童室は、小学校に就学している留守家庭児童への支援として行うものです。

入所の手続き

- 対象 平成28年4月から中央児童室の利用を希望するかた
※今年度入所しているかたも新たに申し込みが必要です
- 申請書 12月1日(火)から中央児童室、各保育園、小国小学校、健康福祉課にて配布します。
- 申込期間 **平成27年12月7日(月)～14日(月)**
- 申込場所 健康福祉課
- 提出書類 「小国町中央児童室入所申請書」及び必要書類
- 定員 70名 ※申込者が定員を超えた場合は、家庭で保育できない程度を判断するとともに、低学年を優先的に入所決定させていただきます。



■申込・問合せ先 健康福祉課 (☎61-1000) へ

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。

■職員手当の状況（一般職）

（平成27年4月1日現在）

扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者 13,000円/月 扶養親族1人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算） 									
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> 借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、27,000円/月を限度に家賃に応じて支給 									
通勤手当	通勤距離2.0km以上を対象に支給。 <ul style="list-style-type: none"> 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円/月 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円/月 									
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">期末手当</td> <td style="text-align: center;">勤勉手当</td> </tr> <tr> <td>・6月期</td> <td style="text-align: center;">1.225月分</td> <td style="text-align: center;">0.75月分</td> </tr> <tr> <td>・12月期</td> <td style="text-align: center;">1.375月分</td> <td style="text-align: center;">0.75月分</td> </tr> </table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り		期末手当	勤勉手当	・6月期	1.225月分	0.75月分	・12月期	1.375月分	0.75月分
	期末手当	勤勉手当								
・6月期	1.225月分	0.75月分								
・12月期	1.375月分	0.75月分								

（各年度一般会計決算）

時間外勤務手当	区分	支給総額	1人当たり平均支給額
	25年度決算額	30,923千円	284千円
	26年度決算額	42,988千円	467千円

退職手当	自己都合	勤奨・定年	
	勤続20年	20.4450月	25.55625月
	勤続25年	29.1450月	34.58250月
	勤続35年	41.3250月	49.59000月
	最高限度額	49.5900月	49.59000月

※定年前早期退職者に対して2%～45%の加算措置有り



■特別職の報酬の状況

（平成27年4月1日現在）

		月額	期末手当
給料	町長	810,000円	6月期 1.475月分
	副町長	630,000円	12月期 1.575月分
	教育長	560,000円	合計 3.05月分
報酬	議長	310,000円	6月期 1.475月分
	副議長	250,000円	12月期 1.575月分
	議員	235,000円	合計 3.05月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（平成27年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）
無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務企画課行政管理室 ☎ 62-2112）へ

町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(平成27年4月1日)

	男	女	合計
一般行政職	5人	1人	6人
医師	1人	0人	1人
医療技術職	0人	2人	2人
看護師	0人	3人	3人
合計	6人	6人	12人

■退職の状況

(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

	男	女	合計
定年退職	6人	0人	6人
勸奨退職	1人	0人	1人
普通退職	4人	3人	7人
合計	11人	3人	14人

■職員数の状況

(平成27年4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他教育職	合計
26年度	94人	7人	4人	12人	41人	14人	2人	4人	1人	179人
27年度	89人	6人	4人	15人	44人	13人	2人	4人	1人	178人
増減	-5人	-1人	0人	3人	3人	-1人	0人	0人	0人	-1人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成27年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事補・主事	主任	係長・主査	室長・補佐	主幹	課長
職員数	15人	24人	25人	12人	3人	10人
構成比	16.8%	27.0%	28.1%	13.5%	3.4%	11.2%

■人件費の状況

(平成26年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成27年3月末)	歳出総額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	25年度人件費率
8,195人	6,180,197千円	878,479千円	14.2%	11.3%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区分	職員数(A)	給与費				一人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
26年度	107人	397,980千円	72,812千円	139,240千円	610,032千円	5,701千円
27年度	106人	381,803千円	79,537千円	138,909千円	600,249千円	5,663千円

■平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区分	平成26年度			平成27年度		
	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額
一般行政職	42.3歳	20.8年	305,500円	41.5歳	20.0年	302,100円
技能労務職	48.8歳	27.0年	280,900円	49.8歳	28.0年	285,100円

■初任給の状況

(平成27年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	174,200円	174,200円
	高校卒	142,100円	142,100円
技能労務職	高校卒	139,500円	139,500円

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	24年度	25年度	26年度
小国町	98.8 (91.3)	99.7 (92.1)	93.1
県内町村平均	103.9 (96.0)	102.3 (94.5)	96.8
全国町村平均	103.3 (95.5)	103.2 (95.4)	95.6

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。()内は、国家公務員の時限的な給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値です。



心豊かな芸術の世界を楽しもう ～白い森芸術祭～

昨年まで行っていた町民文化祭を、今年は期間を大幅に延長し、10月17日から11月23日までの38日間を白い森芸術祭として開催しました。この間、町内各所でさまざまな展示会や公演、コンサートが催されました。

10月18日におぐに開発総合センターで開催された子ども芸術体験は、子どもたちにアートの面白さを体感してもらおうと企画されたもので、小学生とその保護者約20人が参加しました。参加者は、特殊な染料が着いた紙で葉の形をハンカチに写す「山の幸染め」や、カメラの性質を利用した「光で描く絵画」など、4つの体験を楽しみました。自由な感覚と発想力で想像力あふ



子ども芸術体験「光で描く絵画」



作品展示会



芸能まつり

11月23日におぐに開発総合センターで開催された文化講演会では、鶴岡市にあるレストラン「アル・ケッチャーノ」の奥田政行オーナーシェフが「食から始まる地域づくり」と題して講演し、約160人が来場しました。奥田シェフは、自らの人生を振り返りながら「料理人である自分は、大地と人、人と人を結びつける役割であり、関わり合う命や想いを料理で表現したい」という想いを語られました。また、「この地域にしかない世界一を見つけること」が大切だとして、どこにも負けない地域資源を掘り起こし、地域の、そこにしかない自然環境が創り出す可能性の大きさに気付くことの重要性を話されました。

れる作品づくりとなりました。

11月1日から3日まで町民総合体育館で開催された作品展示会では、町民のかたが制作した書画や生花、陶芸、俳句、押し花絵画、パッチワーク、織物など、多岐に渡る作品約450点が展示され、3日間で約350人が来場しました。同会場では茶席を楽しむこともでき、多くの来場者が作品を眺めたり会話を弾ませたりと、ゆっくりとした時間を楽しんでいました。

また、11月3日は小国小学校体育館にて芸能まつり、おぐに開発総合センターで民謡まつりが開催され、会場は多くの来場者で熱気に包まれました。ハーモニカ演奏やバレエダンス、詩吟、民謡、踊りなどが披露され、盛大な拍手がおくられていました。



文化講演会にて
「アル・ケッチャーノ」奥田政行氏

歴史的景観を後世まで ～黒沢峠敷石道保全修復～

11月4日、黒沢峠で敷石道の保全修復活動が行われ、基督教独立学園高等学校（山本精一校長）の生徒12人が参加しました。これは、今年度越後米沢街道・十三峠交流会（高橋純会長）がやまがた社会貢献基金を活用し、降雨により土が流され敷石が浮いたり、埋没、変形している箇所を保全修復するために実施したものです。6月から実施され、これまでに小国中学校生徒ボランティアなど9団体174人が参加しました。

生徒たちは敷石の脇に土のうを並べながら、永い年月の間に自然と融和した黒沢峠の石段の美しさに触れていました。



助けよう、大切な命 ～AEDが寄贈されました～



11月11日、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部（石井孝道支部長）から道の駅「白い森おぐに」（駅長：舟山栄二小国町商工会長）にAED（自動体外式除細動器）1台が寄贈されました。東北支部では、社会・環境貢献活動の一環として、毎年東北地方の道の駅2カ所に寄贈しており、当道の駅への設置は県内で5カ所目になります。贈呈式が行われた後、AEDは「ぶな茶屋」軽食コーナーの物産直売所入り口横に設置されました。



緑のふるさと協力隊 くぼた 窪田 ともなり 智成



「民謡まつりに参加して」

鮮やかな彩りを見せていた山も、葉が散ってしまい、少し寂しい風景になってきました。

今回、私は11月3日におぐに開発総合センターで行われた白い森芸術祭民謡まつりに参加しました。午後6時からという遅い時間帯のイベントでしたが、たくさんの方々に来ていただいて驚きました。民謡会ではこの日に合わせて一生懸命練習を重ねてきましたので、皆さん気合を入れてステージに向かわれていました。

演目は私の唄う小国音頭から始まりました。たくさん練習を重ねてきたのですが、やはり本番では緊張しました。中盤では再びソロで小国音頭を唄いました。会場の皆さんに手拍子をして会場をさらに盛り上げていただいたので、とても嬉しく感じました。

指導してくださった民謡会の皆さん、そして会場においでいただき応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅あけぼの団地》

- 3DK 1戸(2階)
- 2DK 1戸(1階)

- 家賃 所得と家族構成による
- 対象 所得制限あり

《小坂町勤労者住宅》

- 2DK 3戸(1、2、3階)
- 家賃 38000円
- 2K 1戸(2階)

- 家賃 33000円

- 対象 町内の事業所にお勤めのかた

- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期限 12月10日(木)

- 入居時期 12月下旬以降
- 問合先

地域整備課建設管理室
(☎62・2431)へ

県営住宅入居者募集

- 募集住宅 3DK 6戸

- 家賃 所得により決定

■対象

- 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分

- 募集期間 12月7日(月)～12月11日(金)

- 入居時期 2月上旬

- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市)総合案内窓口
- 問合先

県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238・24・2332)へ

おぐに白い森(株)社員募集

■募集職種

事務職(施設業全般)

■募集人員

若干名(概ね30歳まで)

■学歴 高卒以上

■選考 作文 面接

■採用時期 平成28年4月

■申込方法

履歴書を当社まで郵送してください

■申込締切 12月11日(金)

■申込・問合先

〒999・1361 小国町大字栄町30 おぐに白い森(株)(☎62・4518)へ

・ふるさと奨学ローン ・生活応援ローンのご案内

～ふるさと奨学ローン～

ご子弟が大学や専門学校等を卒業後、山形県内に就職した場合は、それ以降の利子に対して元金300万円を限度に、教育基金協会から年2.0%の利子補給が受けられます。

■使いみち

大学や専門学校等の学資金、住居・生活資金など

- 融資金額 最高1,000万円

- 融資金利 年2.50%から3.65%
(固定金利・保証料込)

- 融資期間 最長10年

～生活応援ローン～

自動車購入や教育資金、リフォーム資金など、生活資金全般にお使いいただけます。

■融資対象者

会社や商店に1年以上お勤めのかたで、労働組合がない、または職場に融資制度がないかた

- 融資金額 150万円以内

- 融資金利 年3.2% (固定金利・保証料込)

=申込・問合先=

東北労働金庫小国支店(☎62-4456)へ

“白い森の国 ふるさとおぐに”

フォトコンテスト 作品募集中!

四季折々の風景など“ふるさとおぐに”をテーマとしたフォトコンテストの作品を募集しています。

■題材

山岳や植物などの自然資源や史跡など

■作品企画

カラーで四ツ切り(ワイド版も可)、A4サイズ

■応募締切

平成28年1月31日(日)

※当日消印有効

■その他

詳細は町ホームページをご覧ください。

■応募・問合先

産業振興課商工観光室
(62-2416)へ



※日程が変更になる場合は、アスモ掲示板でお知らせします。

12月の保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 12月18日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成27年8月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 12月18日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成26年12月生まれ

■1歳6カ月児健康診査

- ・期 日 12月11日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成26年4月、5月、6月生まれ

■3歳児健康診査

- ・期 日 1月8日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成24年5月、6月、7月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

♪あそびの広場♪

- 日 時 12月1日、8日(子育て講座)、15日、22日
午前9時30分~11時30分
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた

♪赤ちゃん広場♪

- 日 時 12月10日、24日
午後1時~3時30分
- 対象者 生後4カ月から18カ月のお子さんとお家のかた

♪なかよし広場♪

- 日 時 【毎週月曜日・木曜日】
午前9時30分~11時30分
午後1時~3時30分
※第2、4木曜日の午後はお休みとなります。
- 【毎週火曜日】
午後1時~3時30分
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた



求 人 情 報

下の表は11月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
日本重化学工業(株) 小国事業所	電子材料の製造スタッフ	4人	8:15~17:15他
	機械整備・修理スタッフ	1人	8:15~17:15
(株)小国タクシー	タクシー運転手 【1種免許のみでも相談可】	1人	6:30~18:00他
特定非営利活動(NPO)法人 まんまる	支援員【急募】	1人	7:00~10:00他
安部工業(株)	運転手	2人	8:00~17:00
	現場監督員	2人	8:00~17:00
	事務職	1人	8:00~17:00
社会福祉法人 小国福祉会	看護師 (常勤正規職員)	1人	8:00~17:00他
アクサ生命保険(株) 長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	2人	9:15~17:00
(株)金十商店	(臨)レジ業務・生鮮作業業務	3人	6:00~19:30間の5時間程度

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

☆町ホームページでは、求人情報のほか、職業訓練情報、仕事に関する相談・講習会などについてお知らせしています。ご活用ください。

(町ホームページアドレス: <http://www.town.oguni.yamagata.jp/>)

今月の納税 2015.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●12月28日(月) 水道料

●12月25日(金)

固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者保険料

●1月4日(月)

介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

12月の あいイベント 小学生サッカー教室



- 日時 12月20日(日)午前9時～11時
- 対象 小学生
- 持ち物 室内シューズ、飲み物、タオルなど
- 参加費 50円（保険料込み）
- 申込締切 12月17日(木)午後9時まで
- 申込・問合せ
(☎87-0080)



ここ掘れ和ん話ん探検隊

しめ飾りづくり教室



わらや松葉など自然素材を使って、お正月に家で飾れるしめ飾りを作ってみませんか？

- 日時 12月12日(土) 9:30～12:00
- 場所 おぐに開発総合センター 1階
- 定員 先着15名
- 対象 親子、一般
- 参加費 1人500円（材料代・保険料込み）
- 申込締切 12月8日(火)
- 申込・問合せ NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
(☎62-5955) へ

町税の夜間および休日納税相談

- 受付内容 町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付と納付に係る相談

【休日相談】

12月5日(土)、6日(日) 9:00～17:00

【夜間相談】

12月7日(月)～10日(木) 17:30～20:00

- 問合せ 町民税務課税政管理室へ

総合センター 図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- | | |
|----------------|--------------|
| ◇福井モデル | 藤 吉 雅 春 |
| ◇スクラップ・アンド・ビルド | 羽 田 圭 介 |
| ◇あっ！命の授業 | ゴ ル ゴ 松 本 |
| ◇感情的にならない本 | 和 田 秀 樹 |
| ◇老後破産 | NHK スペシャル取材班 |

相 談

▽年金相談

- 日時 12月16日(水)
10:30～14:00
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

- 日時 12月16日(水)
10:00～12:00
- 場所 健康管理センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ 町民税務課住民窓口担当へ

弁護士による 住まいに関する無料法律相談

- 日時 12月17日(木)
午後1時～午後4時
- 場所 置賜総合支庁西庁舎（長井市）102会議室
- その他 先着4人、1人40分程度で、事前のお申込みが必要です。
- 申込・問合せ 県営住宅等指定管理者
(株)西王不動産置賜事務所
(☎0238-24-2332) へ

「借金に関する相談会」

事前にご予約のうえ、ご相談ください。必要に応じて弁護士など専門家に引き継ぎます。相談は秘密厳守です。

- 日時 12月21日(月)
10時～15時30分
- 場所 置賜総合支庁西庁舎（長井市）203会議室
- 受付期間 12月18日(金)まで
8時30分～16時30分
- 予約・問合せ 山形財務事務所理財課
(☎023-641-5201) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 税政管理室 ☎62-2403
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 農林振興室 ☎62-2408
- 商工観光室 ☎62-2416
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448

年末年始の休館情報等について

	水 道	町 立 病 院	ご 収 集	小国中継施設 (リレーセンター)	総合センター、 町民体育館、あいべ	温 水 プ ール
29日(火)	清水設備 ☎67-2127	休診	一部地区 のみ収集	通常どおり	休み	通常どおり
30日(水)	山一住設(株) ☎61-0123	休診	休み	休み	休み	通常どおり
31日(木)	小関住宅設備 ☎62-5347	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
1月1日(金)	パイプライン ☎62-2461	休診	休み	休み	休み	休み
2日(土)	津島屋電機店 ☎62-2404	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
3日(日)	設備佐藤 ☎62-5606	休診	休み	休み	休み	10:00~16:30 (最終受付16:00)
問合せ先	地域整備課 建設管理室	町 立 病 院	町民税務課 町民生活担当	小国中継施設 (リレーセンター) ☎63-2251	総合センター、 町民体育館、あいべ	温 水 プ ール ☎62-4248

入札結果情報 (平成27年10月21日～平成27年11月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H27.10.27	平成27年度小国町水道事業針生水源地施設電気及び機械設備工事	針生	H29.3.10	161,581,000	(株)フソウ 東北支店	120,000,000
H27.11.9	平成27年度社会資本整備総合交付金事業町道二本柳北線他下田沢川橋梁補修工事他1橋	西他	H28.3.25	31,844,000	遠藤建設(株)	30,500,000
H27.11.9	平成27年度大石地区耐震性貯水槽40m ³ 型整備工事	伊佐領	H28.1.15	6,931,000	(株)船山工務店	6,850,000
H27.11.9	平成27年度小股地区耐震性貯水槽40m ³ 型整備工事	小股	H28.1.15	7,037,000	(株)アラマサ	7,000,000
H27.11.19	平成27年度町岩地区導水路落雪防止梁設置工事	町原	H28.1.22	2,578,000	斎藤建設(株)	2,500,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第1工区)	舟渡、五味沢外	H28.3.31	16,290,000	(株)高橋工務店	16,200,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第2工区)	金目、貝少外	H28.3.31	10,439,000	(株)船山工務店	10,300,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第3工区)	小渡、増岡外	H28.3.31	13,210,000	白洋社産業(株)	13,200,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第4工区)	西、幸町外	H28.3.31	12,483,000	(株)横川建設	12,200,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第5工区)	岩井沢、おれおれ外	H28.3.31	13,638,000	小国開発(株)	13,500,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第6工区)	東原、伊佐領外	H28.3.31	15,515,000	安部工業(株)	15,400,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第7工区)	叶水、大石沢外	H28.3.31	10,625,000	山和建設(株)	10,500,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第8工区)	小玉川、樽口外	H28.3.31	12,655,000	玉川開発(株)	12,400,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第9工区)	沼沢、白子沢外	H28.3.31	9,726,000	遠藤建設(株)	9,700,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第10工区)	癒しの園	H28.3.31	4,257,000	斎藤建設(株)	4,200,000
H27.11.19	町道除排雪作業業務委託 (第11工区)	なごみ団地	H28.3.31	4,356,000	大和建設運輸(株)	4,300,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

